

きたかた 社協だより



VOL.
74
令和7年2月1日号

よるこび多い
まちづくり

◆ 良い一年になりますように ◆

塩川デイサービスセンターで、会津地方の小正月行事「だんごさし」を行いました。
五穀豊穡、家内安全を願い、ひとつひとつ丁寧に飾りました。



目次

- | | | | |
|-----|--------------------------------|----|------------------------------------|
| 2~5 | 第20回喜多方市社会福祉大会
表彰・ちいさなて優秀作文 | 9 | 生活サポートセンターからのお知らせ・
成年後見相談センターより |
| 6 | 社協トピックス | 10 | 地域包括支援センターからのお知らせ |
| 7 | 共同募金御礼・実績報告 | 11 | 寄付報告 |
| 8 | ぼらせん通信 | 12 | 社協インフォメーション |

喜多方市
社会福祉協議会公式



喜多方社協HP



FACEBOOK

第20回 喜多方市社会福祉大会

令和6年11月19日(火)、喜多方市総合福祉センターにおいて第20回喜多方市社会福祉大会を開催しました。

第1部の式典は、喜多方市の社会福祉向上並びに共同募金運動に多大なご貢献があった方々に対し、表彰状、感謝状の贈呈を行いました。

また、市内小中学校生から募集した福祉作文「ちいさなて」の優秀作文の発表を行い、優秀賞の児童生徒の皆さんはボランティア活動の体験や福祉に対する考えを若い視点でいきいきと発表され、皆さん感心しておられました。

大会宣言では、この大会を契機として、市民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉社会の実現に努めることを参加者一同誓い合いました。

第2部の記念講演は、福島県須賀川市出身の落語家桂幸丸氏による「噺家になって50年そして想うこと」と題したお話をいただきました。会津磐梯山の出陣子で始まった記念講演は、前半はこれまでの人生についてのお話を、当時は辛かった出来事も、今になると全て噺のネタになります。と話され、後半は喜多方市の偉人「瓜生若子伝」の一席と「福島方言落語」に会場は終始笑い声が絶えない講演となりました。



大会長あいさつ



市長あいさつ



表彰状贈呈



桂幸丸氏による記念講演

社会福祉大会会長表彰

多年にわたり地域福祉の充実に尽くされた方・団体

● 風間 常 義(故人)

● 塩川民話の会

● 福島県立 会津農林高等学校耶麻校舎

社会福祉大会会長感謝

社会福祉事業を理解し

多額の寄付をされた方・団体

● 五十嵐 カツ子

● 大竹 由記子

● 仲川 喜代美

● ㈱J A会津よつば総合サービス

● (公社)生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 福島県協会

福島県共同募金会会長感謝

共同募金運動を理解し令和5年度において

多額の寄付をされた方・団体

● 齋藤 マサ子

● 坂田 仁一

● 鈴木 立子

● 塚原 正道

● 東條 貞一郎

● 峰岸 西季知

● 矢沢 啓一

● 会津喜多方ライオンズクラブ

● あいつ塩川湯川ライオンズクラブ

● (社)南町報徳社

● (医)昨雲会職員一同

● 喜多方市ボランティア連絡協議会

● 喜多方佛教会

● 塩川町誘致企業協議会

● 満福寺

受賞者一覧(順不同・敬称略)

福島県共同募金会会長感謝

共同募金運動を理解し令和5年度において
多大な貢献をされた団体

- 喜多方市立 第一小学校
- 喜多方市立 第二小学校
- 喜多方市立 松山小学校
- 喜多方市立 第三小学校
- 喜多方市立 関柴小学校
- 喜多方市立 熊倉小学校
- 喜多方市立 慶徳小学校
- 喜多方市立 熱塩小学校
- 喜多方市立 加納小学校
- 喜多方市立 塩川小学校
- 喜多方市立 堂島小学校
- 喜多方市立 姥堂小学校
- 喜多方市立 駒形小学校
- 喜多方市立 山都小学校
- 喜多方市立 高郷小学校
- 喜多方市立 第一中学校
- 喜多方市立 第二中学校
- 喜多方市立 第三中学校
- 喜多方市立 会北中学校
- 喜多方市立 塩川中学校
- 喜多方市立 山都中学校
- 喜多方市立 高郷中学校
- 福島県立 喜多方高等学校
- 福島県立 喜多方桐桜高等学校
- 福島県立 会津農林高等学校耶麻校舎
- 喜多方佛教会
- 喜多方シテイエフエム㈱
- 喜多方市関柴町民生児童委員協議会
- 喜多方市熊倉町民生児童委員協議会

児童生徒の福祉作文

優秀賞
受賞作文の
ご紹介

「ちいさなて」

本会では、未来を担う児童・生徒の皆さんの福祉への理解と関心を高めボランティア精神を育むため、市内の小中学校をボランティア活動普及事業協力校として指定し、各学校で行われる福祉教育を支援しています。

こうした学校のボランティアや福祉活動及び地域や家庭での福祉体験をとおして、日頃から感じている事などを子供たちの目線で綴って、福祉作文集「ちいさなて」として発刊しております。

以下の作文5点は令和6年度の「ちいさなて」より優秀作文として選考されたものです。



ボランティア活動の様子

令和6年度児童生徒の
福祉作文 優秀賞受賞作文

小学生の部

「ありがとう」の一言で

喜多方市立第一小学校 六年

三瓶花弥



この前、友達が困っていたので手伝ってあげたら、こんな一言を言われました。

「ありがとう。」
その一言を言われて、私はむねがあたたかくなりました。このように、「ありがとう」には特別な効果があります。他にも、健康や心にも良いえいきょうがあるようです。

ですが、親や友達に、はずかしくて「ありがとう」を伝えられてない人がいると聞いて、少しおどろきました。でも、分かります。私も、親に助けもらったとき「ありがとう」を言えませんでした。別に言わなくてもいいと思ってしまったのです。

ただ、そんな考えはダメなのです。私には後悔することがあります。一年前、私は母方のおじいちゃんを亡くしました。たくさん優しくしてもらっ

て、たくさん愛をくれたのに、あまり感謝することができなかったのです。それだけは未だに後悔しています。つまり、私が言いたいことは「失ってからはもうおそい」ということです。この幸せな日常がいつかわれるか、私達には分かりません。自分のことを愛してくれる親や友達がいること、毎日おいしいご飯を食べられること、雨風をしよける住まいがあること、そんな本当にささいなことも、いざ失ってみるとすごく大切なことだったと実感します。

今年一月、能登半島地震がありました。その地震や津波のえいきょうで、たくさんの方がお亡くなりになりました。それだけではなく、自分の帰る場所がなくなった人だっています。考えてみてください。大切な人や住まいを失って、避難所で過ごす生活。私にはたえられません。

そんな人もいるなかで、私達は毎日平和に過ごせています。だからこそ、日々のささいなことにも感謝して過ごしていきたいです。「ありがとう」は、言う側も言われる側も心があたたかくなるすてきな言葉です。みなさんも、口に出して言ってみませんか。



能登半島地震の ボランティア記録を見て

喜多方市立豊川小学校 六年

新田 ひかり



二〇二四年一月一日、石川県で能登半島地震が起きました。お正月なのに、地震のニュース

でいっぱいでした。ニュースの中に、「災害ボランティアに参加した」というものがありました。私はボランティアに参加したことがありません。ボランティアに参加する人たちはどのような気持ちでいるのか、参加した人の記事をインターネットで調べ、見てみることにしました。調べてみると、能登半島地震のボランティア希望者はいつも定員をこえているそうです。その方は、知人や友人が被災者になったから能登のために何かできないかと考え、参加したそうです。また、少しでも被災者の力になりたい、と応募する人も多くいるそうです。実際の現場では、復旧のお手伝いをする中で、「あとは自分でできるからいいよ」とお礼を言われることがあるそうです。しかし、被災者の本音は最後まで片付けてもらえないと思っているのではないかと思います。災害にあつて、住むところだけでなく、食べ物や飲み物もがまんしているはずなのに、さらに本音を隠してがまんしているのだと思います。また自分たちの町を

自分たちで直したいという思いや、助けてもらえばかりで、申し訳なさを感じているのではないかと思います。

私は記事を最後まで読んで、ボランティアに参加する人は友人や知人が被災したからという理由だけではなく、被害にあつていた人々の大変な思いや、助けてほしい思いを考え、復旧の手伝いに行くことを知りました。そして、被災者も大変なはずなのに、さらにがまんして本音をかくしていることを知りました。また、テレビで見るボランティア活動のニュースは、有名人やスポーツ選手ばかりです。ボランティアに行けるのは特別な人だけかと思っていましたが、こうして普通の人がボランティアに参加し、被災者の方々の助けをしていることを知ることができました。私は今まで、自分の住む町に関係のない災害は、ほとんど気にしていませんでした。しかし、自分がもしも被害にあつたとしたら、助けてほしい、ボランティアの方に来てほしいです。

今回ボランティアについて調べてみて、たくさん知らなかったことを知ることができました。私はもともと災害に対する意識が低く、ボランティアに関するニュースもよくわからずに聞き流していました。今思うと、災害はいつ起きるかわからないですし、少し怖くなりました。もし自分が被災したら、様々なことをがまんしなくてはなりません。一人でがんばれることには限界があります。だから助け合い、支え合うことやボランティア活動が大切なのだと気づくことができました。まずは災害への意識を高め、災害への備えをしっかりとすることが始めていききたいです。

「ボランティア」の意味

喜多方市立高郷小学校 六年

中島 陽輝



僕は、「ボランティア」という言葉があまり好きではありませんでした。学校で「ボランティアで草むしりし

てくれる人いないですか？」などの言葉をきいても、いまいち動く気になれませんでした。「誰かがお給料をくれるわけでもないのに、やってもなあ。」という気持ちがあつたからです。

そうやって過ごしていた、今年のお正月にとある悲しい出来事がありました。能登半島で起こった大地震です。僕の住んでいる地域にも大きな揺れは伝わったので、能登半島では想像もつかないほどの揺れがあつたと思います。二、三日たつた時、能登半島にはすでにたくさんボランティアの人々や支援が集まり、みんな助け合っていました。僕は驚きました。まず、ボランティアの人々が集まった速さに驚きました。まだ地震から時間もたつておらず、しかもお正月というタイミングでもこんなに早く駆けつけることができる決断力がすごいと思いました。次に、ボランティアに集まった人の多さに驚きました。当時、ボランティアに駆けつける人があまりに多く、「許可なく来ることはやめてください」というニュースが流れていたことを覚えています。それほどたくさんの人たちが

が集まり、ボランティア活動をしているのは、すごいと思いました。

そして何より、報酬や給料がないのにボランティアに行こうとする気持ちに驚かされました。給料をもらえるから仕事をするのであって、給料をもらえなくても仕事をしたい人はほとんどいないと思います。そのことと同じで、僕だったら報酬が何もなかったらボランティアをしたいとは思いません。しかし、ボランティアの人たちは、何も報酬がないのに、自ら進んでボランティア活動をしています。

人のためによくそこまでできるなど思いながらニュースを見ると、ボランティアの人に「どのような気持ちでボランティア活動をしていますか」と、インタビュウをしているのを見ました。そして、その人は「復旧する難しさは感じますが、住民の方に感謝してもらえると、とてもうれしい気持ちになります。」と書いていました。このニュースで、僕は間違いに気が付きました。報酬がなくても頑張っているのではなく、住民の方に感謝してもらうことで頑張れているのです。僕も、誰かにありがとうと言われると、もっと頑張ろうという気持ちになります。

もし僕がボランティアを頑張つたら、感謝してくれる人たちがたくさんいるはずです。報酬を大事にするのではなく、そういった感謝の心を大事にしていけば、次「ボランティアのいいない？」と声をかけられたときに、すぐ動きたすことができると思います。

感謝をすること、感謝を受け取ること、感謝をすること、ボランティアをしていききたいです。

中学生の部

ボランティア活動を

通して学んだこと

喜多方市立第三中学校 三年

小檜山 芽生



私達喜多方三中三年生は、四月に次のようなことをしました。それは、ボランティアの講演会への参加です。講演会では、世界各地でボランティアに携わっている、三名の講師の先生方がボランティアについて教えていただきました。その中で学んだことや感じたことがあります。

最初は、「ボランティアとは何なのか」を学びました。ボランティアの幅は広く、たくさんの種類があることがわかりました。災害支援、「ゴミ拾い」、募金、マラソン大会の運営などです。これらは全て、人を助け、応援する自主的な行いなのです。私は、ボランティアに興味を持ちました。

講師の方の一人が、外国でボランティア活動をした時のことを話してくださいました。言葉も価値観も違う人と、どう接するのだろうか、と心の中で思いました。戦争や紛争で被害を受け、食

料や衣類を失った人々に物資を届けたり、辛い思いをした人に耳を傾けたりしていました。私は、とても勇氣ある素晴らしい行動だな、そう強く感じました。

ボランティアは、お願いされたら動くことではなく、困っている人がいたらすぐに駆け付け支援することだと学びました。そして、ただ助けるのではなく、相手の心に寄り添い、受け止めて接することが大切だと知ることができました。

講演会を通して学んだことを生かし、自分のためではなく人のために行動することを心がけて生活したいです。自分にもできることがあれば、率先して行動に移し、生きていることに感謝の気持ちをもって生活したいと思いました。



思いやりの気持ち

喜多方市立会北中学校 三年

園部 ゆめ



私は、夏休みに福祉系のボランティアに参加しました。普段私たちとは違う生活を送る高齢者の方々について知り、福祉についての考えを深めようと思い参加しました。このボランティア活動を通して気づいたことが二つあります。

一つ目は、声をかけることが大切だということです。実際に接してみても、高齢者の方々は自分がやりたいこと、考えていること、分からないことが私たちにはつきり示すことができないと感じました。だから、小さなことでも相手に伝わるように声をかけるように気をつけました。

また、車いすを利用する方々への声かけも大切だと学びました。私は車いすに乗ったり押ししたりしました。そして乗っている人はどう動くのか分からないから不安だということが分かりました。動きはじめる時、止まる時、曲がる時、段差を上がる時など細かい声かけをし、安心させることが必要だということが分かりました。

二つ目は、高齢者の方々のペースに

合わせることです。コミュニケーションをとる時は、相手が話したいことを受け入れ、よく聞いてゆっくり、大きな声で返事をするようにしました。また、目線を合わせて笑顔で接するようになり、目線を合わせました。高齢者の方が動くときは、相手に合わせて行動しました。私が高齢者疑似体験をやった時に、立ちたりすわったり、歩いたりするだけですごく疲れて腰が痛くなり大変でした。だから相手のペースに合わせるのはとても大切なんだと感じました。

私はこのボランティア活動を通して、高齢者の方々はとても大変な生活を送っていることが分かりました。したがって、私たち若い人が協力し合っでみんなが安心して暮らせるように行動するべきだと思います。これから私は、私の祖父母や近所に住んでいる高齢者の方々にについてよく考えて学んだことを活かして生活します。会った時には必ずあいさつをしたり、少しお話をしてみたいと思います。高齢者の方々ははじめ、身体障がい者の方々が困っているような時には、積極的に声をかけ、自分に手伝えることがあれば手伝い、そうした方々の力になりたいです。その他にも、身の回りを見直して自分ができることがあれば、気づいたことから始めていきたいです。

百寿おめでとうございます!

本会介護事業をご利用され、100歳を迎えられた方をご紹介します。

もの え こうへい
物江 康平さん
(大正13年10月16日生まれ)



自費出版
された詩集



おしゃべりや俳句を作ることが好きな物江さん。長生きの秘訣は、「みんなと仲良くし、感謝の気持ちを持って日々過ごすこと」と話されていました。これからも素敵な句を作り続けてください!

俳句

湯けむりの
むせぶにあらじ
看取りの情

意味

デイサービスにて入浴のお世話をしてもらい感謝で涙がでます。湯けむりが目にしみて泣いているのではない。

さいとう すみこ
齋藤スミ子さん
(大正13年10月1日生まれ)



歌をうたったり、漢字ドリルに取り組むことが好きな齋藤さんの長生きの秘訣は、好き嫌いなく何でも食べることとヨクヨクしないことだそうです。「お嫁さんや孫夫婦に大事にもらっているのが元気でいられます。」と感謝の言葉も聞かれました。これからもお元気に過ごしてください!

みんなで賑やかクリスマス!

本所と塩川支所の「わくわく♪ちびっこ広場」にはサンタさんがやってきました。音楽に合わせて一緒に踊ったり、手作りクリスマスツリーを制作した後はサンタさんからプレゼントが!楽しいクリスマス会となりました。



山都デイサービスセンターに、会津農林高等学校耶麻校舎のみなさんが来訪され、生徒さんから歌とダンスと、たくさんの元気をいただきました。30年以上続いたこの交流も高等学校統合のため今年で最後となります。多くの楽しい時間をありがとうございました。



健康で元気に働ける職場づくりを目指して

福島県と協会けんぽ福島支部では共催で「健康事業所宣言」事業を実施しています。これは健康事業所宣言をした事業所が協会けんぽより健康づくりのサポートを受けながら、事業主と社員が一丸となって健康で元気に働ける職場づくりを目指すものです。

本会では、平成31年度にエントリーをし協会けんぽのサポートのもと健康イベントや啓発等を行ってきましたが、この度「ふくしま健康経営優良事業所」として認証を受けました。

今後も引き続き、職員がいきいきと働く職場を目指し健康づくりに取り組んで参ります。





赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました



御 礼

今年度も赤い羽根共同募金運動が十月一日より全国一斉に実施されました。

市内小中高등학교や民生児童委員の皆様をはじめ、関係各位の多大なるご協力を賜り、十二月三十一日をもって募金活動を無事に終了することができました。

市民の皆様には、赤い羽根共同募金運動の趣旨をご理解いただき、地域のたすけあいの輪を広げるため、多くの心温まるご支援とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

赤い羽根共同募金や歳末たすけあい運動へお寄せいただいた募金は、地域で援助を必要としている方への支援や、地域の社会福祉の増進のための活動等に役立てられます。

今後とも皆様の善意を様々ななかたちで、地域に根ざした福祉活動の拡充に努めてまいりますので、「じぶんの町を良くするしくみ」である共同募金運動への変わらぬご支援とご協力によるしくみをお願いいたします。

令和七年二月

喜多方市共同募金委員長
喜多方市社会福祉協議会長

齋藤 勇



喜多方高等学校様



熊倉町
民生児童委員協議会様



喜多方市ボランティア
連絡協議会様



電友会様



山都中学校様



塩川中学校様



第二中学校様



第一中学校様



第三小学校様



第二小学校様



第一小学校様



一般共同募金 **7,303,466円**

歳末たすけあい募金 **4,118,427円**

寄付本事業へのご協力
ありがとうございました!



○寄付本による募金実績 62,791円
○寄付物品 本、漫画本、DVDなど 4,097点

地 区	一般共同募金	歳末たすけあい募金
喜 多 方 地 区	4,282,725円	1,479,173円
熱 塩 加 納 地 区	405,987円	549,515円
塩 川 地 区	1,665,328円	1,386,939円
山 都 地 区	586,161円	447,800円
高 郷 地 区	363,265円	255,000円

令和七年1月22日現在

ぼらせん通信

子育てボランティア

「わくわく♪ちびっこ広場inめぐらざ」行いました!

1月18日(土)、アイデミきたかたで「わくわく♪ちびっこ広場inめぐらざ」を行いました。もちつきごっこやコマまわし等の昔遊びを体験し、みんな上手に出来ました!昔ながらの伝統的な道具に触れ、親子で楽しんでいる様子が見られました。



お問い合わせ | 喜多方市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL 0241-23-3231

「令和6年能登半島地震災害義援金」

「令和6年7月25日からの大雨災害義援金」

「令和6年9月能登半島大雨災害義援金」のご報告

各義援金に対し、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社福島県支部及び福島県共同募金会を通じて、全額が対象地域に届けられました。

皆さまの温かいご支援とご協力に感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

○令和6年能登半島地震災害義援金	5,032,137円
○令和6年7月25日からの大雨災害義援金	38,327円
○令和6年9月能登半島大雨災害義援金	78,261円

✦日本赤十字社福島県支部喜多方市地区
 福島県共同募金会喜多方市共同募金委員会

生活サポートセンターからののお知らせ

生活状況を一緒に考え、
整理していく相談窓口です。
状況に応じハローワークや
他関係機関へも
同行支援します。

相談無料
秘密厳守
です。

引きこもりの
家族のことが
心配…

これからどうやって
生活したらよいか、
どこに相談したら
よいかわからない…

健康保険料、
国民年金保険料が
払えない。

生活が苦しい。
税金、光熱費が
払えない…

仕事が
見つからない・
続かない…

子供の学校の
学用品や給食費が
払えない。

電気、ガス、水道代が
支払えず滞納している。
数日後に止まると
通告あり。



ご相談・
お問い合わせは

喜多方市生活サポートセンター (社会福祉法人 喜多方市社会福祉協議会内)
☎0241-23-7373までご連絡ください。

フードバンクへ寄贈いただきました

協定を締結しているコープ東北サンネット事業連合様のほか、生活協同組合コープあいつ様から「フードドライブ」として食料品の寄贈をいただきました。

また、寄付ご芳名に掲載させていただいておりますが多くのの方々からお米などの食料品等のご寄付をいただいております。地域で必要とされている方やこども食堂等にお配りしています。ありがとうございます。



生活協同組合コープあいつ様



～「これからのこと」一緒に考えませんか？～

喜多方市成年後見相談センター

～相談センターが実施していること～

- 成年後見制度全般の説明・相談
- 適切な相談窓口、機関の紹介
- 成年後見制度の利用に向けた専門職への相談
- 申立手続きの支援
- 成年後見制度の利用を検討するための会議の開催
- 出前講座 など

成年後見相談センターでの相談は**無料**です。



ご相談・
お問い合わせ

喜多方市成年後見相談センター

(喜多方市社会福祉協議会 権利擁護推進室)
〒966-0043 喜多方市宇上江3646番地1(喜多方市総合福祉センター内)

TEL.0241-23-7373 FAX.0241-23-3296

喜多方市成年後見相談センターは、成年後見制度に関する説明・相談、その方に適した相談窓口、機関の紹介、広報・研修などを通して、成年後見制度の利用の促進を図ることを目的とする機関です。

喜多方市地域包括支援センター からのお知らせ

オーラルフレイルを防ごう!!

オーラルフレイルとは口のフレイルという造語です。例えば「最近むせやすくなった」「食べこぼしが増えた」「食欲がない」「歯が抜けたままになっている」など、口に関するささいな衰えがオーラルフレイルです。運動で足腰を鍛えるように、口の環境もトレーニングで改善できます。

パタカラ体操

パ、タ、カ、ラ、の発音をすることで口周りや舌の筋肉のトレーニングになります。
また、唾液が出やすくなる効果もあります。

① パ

の声は唇をしっかり閉じてから発音します。
唇の筋肉で食べこぼしを防ぐトレーニングです。



② タ

の声は舌を上あごにくっつけて発音します。
舌の筋肉で食べ物をのどまで動かすトレーニングです。



③ カ

の声はのどの奥を閉じて発音します。食べ物を飲み込む時にまちがって肺に入らないよう**のどの奥を閉じる**トレーニングです。



④ ラ

の声は舌を丸めて舌の先を上あごの**前歯の裏**につけて発音します。
舌で食べ物をまとめるトレーニングです。



[各発音8回で1セット / 1日2セット行う]

喜多方市地域包括支援センター

● **本所** 喜多方市総合福祉センター内 0241(21)8856

- **熱塩加納サブセンター** 熱塩加納保健福祉センター「夢の森」内 0241(36)2336
- **塩川サブセンター** 塩川保健福祉センター「いきいきセンター」内 0241(27)4047
- **山都サブセンター** 山都高齢者生活福祉センター「しゃくなげホーム」内 0241(38)3139
- **高郷サブセンター** 高郷高齢者生活福祉センター「かたくり荘」内 0241(44)7111

通常の営業日 月曜日から金曜日(祝日、年末年始を除く) 8時30分～17時15分

延長相談 事前予約制 17時15分～19時30分
※事前にご予約をいただき、相談対応いたします。

「寄付ありがとうございます」が届きました

お寄せいただいた寄付金は、地域福祉向上のため大切に役立たせていただきます。
 (令和6年10月1日～令和6年12月31日受付分) (順不同・敬称略)

一般寄付

〈喜多方地区〉

- ・(株)JA会津よつば総合サービス
- ・(株)レゾナック喜多方事業所

〈山都地区〉

- ・鈴木立子

物品による寄付

- ・きたかたふくしネットワーク

〈喜多方地区〉

- ・豊川町長泉寺

- ・大房淳一

- ・和田典久

- ・五十嵐幹夫

- ・渡部七郎

- ・只浦義弘

- ・千葉恵一

〈熱塩加納地区〉

- ・山口稔

- ・山本秀雄

〈塩川地区〉

- ・秋山邦彦

- ・結城志英吉

〔遺志による寄付〕

〈喜多方地区〉

- ・豊川町太郎丸

- ・御清水

- ・上三宮町譲屋

- ・豊川町一ノ堰一区

- ・北町

- ・東四ツ谷

- ・上町西区

- ・岩月町下岩崎

- ・下町北部

- ・岩月町下台

- 吉田 健一
- 穴沢 明
- 花積 和幸
- 渡部 透
- 平野 照代
- 豊子ヤヨイ
- 風筒壮一郎
- 花見 牧雄
- 小林 賢治
- 松川 健二

- 押切南
- 豊川町一ノ堰一区
- 栄町
- 熊倉町熊倉上
- 上三宮町細谷
- 関柴町平林
- 岩月町上岩崎
- 岩月町下台
- 寺町一区
- 南町
- 松山町中村
- 豊川町荒分
- 豊川町高吉二区
- 新仲町
- 関柴町上高額
- 菅原町
- 西四ツ谷
- 松山町北桜方丘
- 豊川町太郎丸
- 関柴町上高額
- 大沼郡三島町
- 関柴町上高額
- 西四ツ谷
- 菅原町
- 松山町大荒井二区
- 関柴町京出
- 熊倉町獅子沢
- 関柴町上高額
- 熊倉町本林
- 松山町村松一区
- 岩月町大沢
- 慶徳町新宮
- 花園町
- 上三宮町細谷
- 菅野 一利
- 五十嵐善範
- 赤城 大
- 村岡 武幸
- 大塚 美好
- 宇津木邦夫
- 大内 晶子
- 小檜山成一郎
- 佐藤 隆一
- 三浦 英一
- 芥川 哲
- 村澤 守
- 小林美智子
- 佐藤 浩子
- 鈴木 志朗
- 佐藤 勝
- 工藤 力忠
- 古川 幸一
- 千葉 恵一
- 五十嵐清昭
- 道田 昌吾
- 佐藤 長敏
- 長谷川昭和
- 星 毅
- 渡部 忠男
- 坂内 孝広
- 堺 守
- 千木良康幸
- 齋藤 敏彦
- 瓜生 恒男
- 穴澤 之孝
- 大竹 一行
- 若狭 伸幸
- 鈴木 茂

- 熊倉町辻
- 上三宮町下三宮
- 寺町一区
- 熊倉町獅子沢
- 松山町南桜方丘
- 豊川町高吉一区
- 慶徳町豊岡
- 慶徳町豊岡
- 関柴町下柴
- 日中
- 根岸
- 半在家
- 赤崎
- 根岸
- 鷺田
- 針生
- 中川原
- 深沢
- 大木
- 高木
- 大木
- 大沢
- 第13区
- 大沢
- 第10区
- 下遠田
- 下窪
- 田中
- 竹屋
- 西常世
- 第5区
- 沖
- 中條 文仁
- 原田 義一
- 那知上昭一
- 遠藤 悟
- 安藤津由子
- 結城 剛
- 岩崎 昭博
- 武藤 幸吉
- 塚原 広志
- 菅井 昌典
- 遠藤 久利
- 岩下 義一
- 小林 寛
- 長井 省一
- 園部 大輔
- 木戸 義人
- 大野 仁一
- 須田 清人
- 関本 賢
- 入岡 雅人
- 藤田 清子
- 江花 泰範
- 太田 英生
- 佐川 憲一
- 一重 正彦
- 安藤 光浩
- 高松 文晴
- 大堀 長武
- 物江 郁夫
- 平宮 哲雄
- 栗村 政人
- 鈴木伊佐美

〈山都地区〉

- ・木曾

- ・一郷

- ・寺内

- ・堰沢

- ・会津若松市

- ・小布瀬原

- ・寺内

- ・藤沢

- ・広野

- ・河原田

- ・広野

- ・松ヶ丘

〈高郷地区〉

- ・夏井

- ・川井

- ・小土山

- ・塩峯

- ・夏井

- ・川井

11月1日号で掲載しました
 ご遺志による寄付に誤りが
 ございました。訂正してお
 詫びいたします。

誤 塩坪 大竹光衛様
 正 塩坪 大竹幸衛様
 大変失礼いたしました。

- 谷地
- 別府
- 中ノ目
- 上利根川
- 万力
- 山内
- 戸田
- 石川
- 新明
- 善二
- 善雄
- 忠一
- 公吉
- 和弘
- 齋藤協一郎
- 精一
- 秀雄
- 義弘
- 五十嵐育子
- 信也
- 暢
- 恒博
- 和也
- 好江
- 義人
- 光一
- 福地
- 武田
- 井上
- 井上
- 武田
- 福地
- 小林
- 祐一
- 橋谷和正
- 須藤 秀久
- 草刈 澄夫
- 荒明 司

資源回収にご協力 ありがとうございます

ご協力いただいた皆様 ※順不同敬称略

△エコキャップ・アルミ缶▽

企業・団体

- ・福田自動車飯金
- ・関柴公民館
- ・豊川町長泉寺
- ・本田金属技術(株)喜多方工場
- ・塗物町ぶれすの会
- ・松山公民館
- ・きたかた商工会女性部
- ・清水食品(株)喜多方工場
- ・(公社)喜多方市シルバー人材センター
- ・隆貴堂やまこみ
- ・ふれあいの家

個人

- ・遠藤典雄
- ・本多和利
- ・齋藤健
- ・細田俊夫
- ・高畑節子
- ・大竹良子
- ・関本美樹子
- ・小林道代
- ・伊藤テル子
- ・五十嵐純子
- ・今松正喜
- ・岩橋浩一
- ・上味マリ子
- ・鈴木立子



※アルタブのみでの収集は終了しアルミ缶での
 収集とさせていただきます。
 ご協力をよろしくお願いいたします。
 なお、スチール缶は取り扱っておりません。

喜多方市高齢者生産活動センターからのお知らせ

いきいきチャレンジ 体験教室 よらんしょ、見らんしょ、いっしょにやんべ!!

●日時 令和7年3月8日(土)～9日(日)
午前10時～午後1時30分

2月28日
締切

●会場 喜多方市高齢者生産活動センター

体験教室は事前申し込みとなります。喜多方市内に住所を有する概ね60歳以上の方で、希望される方はご連絡をお願いします。

【問い合わせ・申込み】

喜多方市高齢者生産活動センター
喜多方市岩月町宮津字火付沢3567-1
TEL0241-24-2297(月～金 8時30分～17時15分)

グループ	体験料	受入人数/内容	時間
陶芸	1,500円	10名 / 皿、茶碗など	午前10時～(2時間)
手芸	600円	3名 / つるし飾り(布)	午前10時～(1.5時間)
織物	1,000円	10名 / 裂き織りテーブルセンター	午前9時30分～(2時間)
押し花絵	1,000円	3名 / 押し花絵ブローチ	午前10時～(1.5時間)
わら工芸	600円	3名 / 長び縄	午前10時～(1時間)

※体験料は一人あたりの料金です。

陶芸製品、裂き織り製品、手芸製品、押し花絵製品、花・多肉植物の販売もしております。ご家族、お友達と一緒に

よらんしょ、
見らんしょ!

令和7年度 新規会員 募集

- 募集期間 令和7年3月1日～随時
- 募集資格 市内に住所を有する概ね60歳以上
- 活動時間 午前10時～午後3時
- 活動費用 年会費及び材料費は各グループによる

ものづくり

陶芸グループ(週2回)

[1班]火・木曜日 [2班]水・金曜日
[陶芸品の制作販売]



仲間づくり

手芸グループ

毎週火曜日
編み物、パッチワークなどの制作販売



生きがいづくり

織物グループ

毎週木曜日
[卓上織り機で、手織り物の制作販売]



押し花絵グループ

月3回、金曜日

[押し花でしおりや額絵の制作販売]



園芸グループ

毎週火・木曜日

[温室にて花木を栽培・販売]



菌茸グループ

毎週水曜日

[原木で椎茸を栽培加工販売]



わら工芸グループ

毎週火・金曜日

[スゲ、わらでび縄等を制作販売]



活動センターでは、一緒に活動する会員を募集しています。楽しく活動しながら、素敵な作品を作ってみませんか？
作品は各種イベントや委託店舗で販売します。他にも研修旅行などお楽しみがいっぱい!

陶芸教室会員募集のお知らせ

喜多方市社会福祉協議会塩川支所では「陶芸教室」会員を募集しています。
「生きがいづくり活動」の一環として、ろくろやたたき作り、手びねりなどの技法で、土のぬくもりを感じながら、陶器の創作活動をしてみませんか。
初心者の方でも、会員さんが丁寧にアドバイスしてくれますのでお気軽にお申し込みください。

- 活動場所 いきがいセンター(塩川いきいきセンターとなり)
- 募集期間 令和7年2月3日～3月25日(開講後、見学してからの入会も可能です)
- 活動期間 令和7年5月～11月(概ね週2回) ●申込資格 概ね55歳以上で喜多方市民の方

【問い合わせ・申込み】 喜多方市社会福祉協議会 塩川支所 ☎0241-28-1254



※きたかた社協だよりの作成経費は、福祉活動支援金・賛助会員会費及び共同募金配分金等を活用させていただいております。

編集発行
社会福祉法人 喜多方市社会福祉協議会
〒966-0043 喜多方市宇上江3646番地1
TEL 0241-23-3231 FAX 0241-23-3296

メールアドレス info@kitakata-shakyo.or.jp
ホームページ http://www.kitakata-shakyo.or.jp/

●熱塩加納支所 TEL 0241-36-3112 FAX 0241-36-2776
●塩川支所 TEL 0241-27-3948 FAX 0241-27-3948
●山都支所 TEL 0241-38-3100 FAX 0241-38-3137
●高郷支所 TEL 0241-44-7111 FAX 0241-44-7112